

平成22年4月12日現在

研究種目：基盤研究（A）
研究期間：2007 ～ 2010
課題番号：19251005
研究課題名（和文）東南アジアの「非伝統的」安全保障—国家の対処能力と地域協力体制の現状と課題
研究課題名（英文） Non Traditional Security Issues in Southeast Asia -The status and issues in State capacity and Regional Cooperation
研究代表者
ABINALES P N（京都大学・東南アジア研究所・教授）
研究者番号：60314267

研究分野：人文学A

科研費の分科・細目：地域研究

キーワード：非伝統的安全保障、東南アジア、地域研究、越境犯罪、地域協力

1. 研究計画の概要

冷戦崩壊後、国家が取り組むべき課題として、麻薬取引、人身売買、海賊、違法伐採、武器密輸など、いわゆる「非伝統的安全保障」の問題が急浮上してきている。とりわけ東西の交流拠点である東南アジアは、対処能力の低い国家も多いことから、この問題は深刻である。そこで、東南アジア諸国の地域研究専門家が研究代表者、分担者となり、現地の情報をもとに問題点を的確に把握し、その上で地域間協力を視野に入れた解決の処方箋を五年間の研究で提示することを目的としている。

2. 研究の進捗状況

最初の3年間は、研究代表者、分担者が各自のテーマを決めて現地調査や文献収集を重ねて問題点を浮かび上がらせて、それを適宜論考として著した。その一方で、複数メンバーで現地の共同調査をすることで、複眼的視野から課題を浮き彫りにする努力をしてきた。そこで三つのことが明らかになった。まず、シンガポールのISEASなどが行っている非伝統的安全保障研究は表層的であり、実態の詳細な分析を踏まえずに、国家、或いはASEANへの政策提言をする傾向が強く、その結果として政策提言自体も無味乾燥なものが多いことである。二つ目は、麻薬取引、人身売買、違法伐採などが「非伝統的安全保障」として国家のセキュリティ上の課題として浮かび上がってくることで、国軍や警察などこれまで通常の治安を担ってきた公的暴力装置が積極的に諸問題を「安全保障化」して自らの管轄事項にしようとしている姿である。環境問題における林業省、感染症問題

における保健省も同様に、非伝統的安全保障という名の下に権限拡大に努めている。つまり、非伝統的安全保障上の課題は、国家内の省庁間の権限拡大のためのセクショナリズムの争いの場と化しており、それが問題解決能力の低下につながっているのである。

三つ目は、非伝統的安全保障の問題は複眼的視野から対処すべきであるにもかかわらず、それぞれのテーマがきわめて高い専門家集団を抱えているために、他分野の研究者が安易に参入しにくく、総合的研究が思ったほど容易ではないことである。

こうした点について理解を共有しながら、3年目の2009年度に本格的なペーパーを書き上げて、海外の連携研究者も交えて国際ワークショップを開催することができた。

また研究成果の社会への還元も積極的にやっている。例えば日本ASEAN賢人会議に白石は議長として、本名は日本側補佐として出席し、非伝統的安全保障問題分野における地域協力の重要性を説き、ASEANサミット提言書に盛り込んでいる。また本名と鬼丸はJICAとASEAN諸国のシンクタンク連合との間の共同研究で、それぞれ越境犯罪、感染症について本科研の研究成果の発信をおこなっている。

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。

(理由)

すでに2年目の2008年度に『外交フォーラム』2008年8月号で「アジアにおける非伝統的安全保障と地域協力」という特集号を組み、さらに3年目の2009年度には海外からの研究者も交えて、国際ワークショップ「アジア

における非伝統的安全保障問題」を開催することができており、予想以上の成果である。

4. 今後の研究の推進方策

最終年度である 2010 年度は、一度、下記の国際ワークショップに集まったペーパーを議論する会議を持った後、各自が最終的な現地調査を行う。その上で、前半期に比較政治学会でセッションを持った後、最終原稿を書き上げ、出版のめどを立てる。今年度は邦語出版をし、次年度以降、英語出版をする。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 49 件)

- ① 本名純 「インドネシアにおける「犯罪との戦い」——非国家主体の暴力をめぐる治安機構の政治」日本比較政治学会編『年報政治学 2009-II 政治における暴力』木鐸社、70-86 頁. 2009 査読なし
- ② 白石隆 「国境を超える脅威にどう立ち向かうか」『外交フォーラム』2008 年 10 月号、46-47 頁. 2008 査読なし
- ③ 本名純 「マフィア・国家・安全保障—東南アジアにおける越境犯罪の政治分析」『国際政治』149 号、127-140 頁. 2008. 査読なし
- ④ 鬼丸武士 「新型インフルエンザ対策 - 何をなすべきか」『外交フォーラム』2008 年 10 月号、54-56 頁. 2008. 査読なし
- ⑤ Abinales, P.N. “Mindanao in the Development Fantasy of the Philippines State: Kinaadman” *Journal of Southern Philippines*. Vol.29. 査読有り pp.23-45. 2007

[学会発表] (計 42 件)

- ① Onimaru, Takeshi, “Infectious Diseases as Security Issues – Current Situation and Problems in Southeast Asia –,” at International Conference on Institution Building in Asia for Peace and Development: Workshop: “Global Economic Crisis and Institution Building in East Asia for Peace and Development” at JICA-Research Institute (Tokyo), August 29, 2009.
- ② Honna, Jun., “Crime at Sea and Human Insecurity in Southeast Asia: Toward a New Paradigm of Maritime Security Cooperation,” International Symposium on Human Security in ASEAN Integration, organized by JICA Research Institute (Tokyo), 30 March 2009.
- ③ 本名純 「東アジアにおける越境犯罪に対する日台海上保安協力の重要性」第 2 回日台周辺海域における海上保安フォーラム、福華国際文教会館、台湾、2007 年 11 月

29 日。

- ④ Abinales, P.N. “When ‘Baby’ Kills: Violence in a Golden Ghetto. JSPS-Core University Program. 7 November 2007, Bangkok.

[図書] (計 9 件)

- ① 本名純 「マフィアたちの東アジア共同体? ——非伝統的安全保障問題としての越境犯罪」『アジアの課題と日本』NIRA モノグラフシリーズ、総合研究開発機構 2008 年、9 頁